

校訓

成徳

一人一人には、その人のすばらしさが必ず具わっている。
それを見つけよう。それを磨こう。それを育てていこう。

学校教育目標

かしこく やさしく たくましく 学び合う 生野っ子

～よく考え すすんで表現し 仲間を大切に 行動する 児童の育成～



よく考え すすんで表現し 学び合い 行動する

- 命を大切にし、仲間のよいところや個性を認め合い、失敗を恐れず最後まで粘り強く頑張る強い心の育成
- 自分で課題を見つけ、主体的に考え、判断し、行動する資質や能力を育み、学び合い高め合う対話力の育成
- ふるさとに学び、ふるさとに誇りを持つ、ふるさと意識の醸成
- たくましく生きるための心身の健康や体力、生活習慣づくり

めざす児童像

☆かしこく

柔軟な発想と自ら考え、判断し行動できる子
学ぶことに意欲を持ち 最後までやり遂げる子

☆やさしく

自分も友達も大切にする子
正しい言葉・優しい言葉がつかえる子
読書を楽しむ子

☆たくましく

元気な挨拶や返事をする子
行動し 心も体も鍛える子

教師の姿勢

☆自己の研鑽に努める

英知が結集する職場
授業実践力・改善力の向上
をめざし研鑽し合う職場

☆創造的に支える

子どもによりそう教育
専門性を活かし協働と連携の職員集団

☆環境

自己の責任を果たし 生産性の高い職場
「報連相」を徹底し学校・家庭・地域と連携した教育活動の推進



到達目標

- 1 命を大切にし、人権意識を高め、互いを知り、認め合い、学び合う児童にする。
- 2 目的意識を持ち主体的に考え、判断・行動し、仲間と共に最後までやり遂げる児童にする。
- 3 多面的・論理的な思考で、課題解決のよりよい方法を探り、確かな学力を身につける。
- 4 ふるさとに誇りを持ち、ふるさとの良さを発信し、主体的に行動する児童にする。
- 5 「早寝・早起き・朝ご飯」で生活習慣を整え、心身ともに健やかな児童にする。
- 6 体力づくりに計画的・継続的に取り組み、運動好きな児童にする。
- 7 読書活動を推進し、想像力や豊かな心を育てる。
- 8 「学校運営協議会」を活用し、学校と地域が連携した学校運営を推進する。

1 命を大切にし、人権意識を高め、互いを知り、認め合い、学び合う児童

- (1) 命を大切にし、自分の命は自分で守ることのできる児童を育成する。
- (2) 学び合う環境は、児童が失敗を恐れず、安心して学べる学級づくりから。学級の実態から課題を明確にし、ビジョンを持った学級経営を行う。
- (2) 人権意識を養い、コミュニケーションを大切にし、児童が互いの違いを認め合い、学び合い、生き生きと自己表現ができる仲間づくりを行う。
- (3) 道徳教育を通して、他者や自己との「対話」により生き方についての考えを深め、規範意識を育成する。
- (4) いじめは「どこでも起こる」と認識し、未然防止・積極的認知と迅速で適切な指導・組織的な対応を行う。

2 目的意識を持ち主体的に考え、判断・行動し、仲間と共に最後までやり遂げる児童

- (1) 「**主体的・対話的で深い学び**」の実現に向けて、目標を明確にし、児童が自ら課題を見つけ、目的意識を持って課題を解決する力を身につけさせるための、授業づくりを行う。また、見通しを持って論理的に考える力を養い、プログラミング的思考の育成を図る。
- (2) **ICT環境**を効果的に活用し、学習活動だけでなく児童の自主的主体的な取組に運用する。
- (3) **体験的な学習**を通して人間性や社会性を培い、達成感や自己有用感を高め、主体的に行動する態度を養う。
- (4) 授業の終わりに「**振り返りの時間**」を設定し、その時間の学びと、新たな疑問や課題は何であるかを児童に考えさせ、次の学びにつなげる。また、児童のつまづきを把握し系統的な指導方法の工夫、改善を行う。

3 多面的・論理的な思考で、課題解決のよりよい方法を探り、確かな学力を身につける

- (1) 知識や情報を収集・活用し、言語や技能を使いこなして、多面的・論理的な思考を身につけ、対話から学びを深める児童の育成。そのための語彙力、知識、技能を育てる授業づくり。
- (2) 各教科や学年相互の関連を踏まえた系統的な指導を行う。評価基準を踏まえて、評価方法を明確にし、P D C Aサイクルを意識して授業改善を行う。
- (3) 個別最適な学びと協同的な学びの充実をはかり、教師の専門性の向上を図る。

4 ふるさとに誇りを持ち、ふるさとの良さを発信し、主体的に行動する児童

- (1) 「総合的な学習の時間」の探究課題を工夫し、ふるさとの未来の担い手としての意欲を高める学習を展開する。
- (2) 地域の文化、歴史、自然などのよさを学び、理解を深め、発信するための情報活用能力を育成する。
- (3) 「柘の実太鼓の練習」「石刀節の練習」などに、熱い思いをもち積極的に地域の文化を継承するため、その背景となる**歴史文化の学習**を教育課程に位置づけ、ふるさと学習を推進する。
- (4) 150周年記念行事を通して、愛校心を養い、ふるさと学習を通して、地域との繋がりを再認識し、地域の一員としての自覚を高める。

5 「早寝・早起き・朝ご飯」で生活習慣を整え、心身ともに健やかな児童

- (1) 生活点検表等を活用し家庭と連携して、「早寝 早起き 朝ご飯」の生活リズムを整える。
- (2) 児童が自らの生活習慣や時間の使い方を見直し、心身の健康について考え行動する力を養う。
- (3) 食育を推進し、栄養教諭や家庭と連携して、自分の体や健康に関心を持ち、よりよい生活習慣を身につけよう

とする意欲を高める。

6 体力づくりに計画的・継続的に取り組み 運動好きな児童にする

- (1) **体力作り、体幹づくりに向けた取り組みを計画的・継続的に全校で取り組み**、日々の体力増進に向けた運動の習慣化を図る。
- (2) **体力測定**を活用し、課題を明確にすると共に、運動の習慣化が体力や技能の向上につながることに気づかせ、運動への関心を高めていく。

7 読書活動の推進

- (1) 児童が本に触れる機会をふやし、読書ボランティアとも連携して 読書活動を推進する。
- (2) 様々なジャンルの書物に触れ、豊かな感性や想像力を育み、本の世界を楽しむ児童を育成する。

8 「学校運営協議会」を活用し、学校と地域が連携した学校運営を推進する。

- (1) **学期に1回（年間3回）協議会**を開催し、地域と共にある学校づくりを推進する。
- (2) 校報などを通して、取り組みを積極的に発信する。
- (3) 地域の教育資源や人材の情報を学校運営協議会で共有し、地域が参画する教育活動の計画、推進を図る。